

第39回東北地区小中学校教頭会研究大会山形大会 報告  
青森市立造道中学校 高村 浩樹

大会主題 『豊かな人間性と創造性を育み未来を拓く学校教育』  
(第11期初年度全国統一研修主題)

開催期日 令和元年11月7日(木)～8日(金)  
開催地 山形県山形市  
会場 全体会・記念講演 山形テレサホール  
分科会 山形国際ホテル メトロポリタンホテル山形  
日程 11月7日(木) 全体行事、記念講演  
11月8日(金) 分科会3「教育環境整備に関する課題」参加

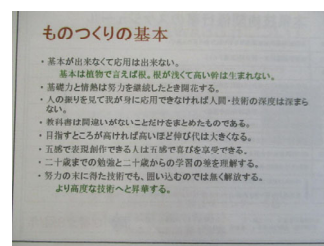
◆第1日目:全体行事・講演会

会場 山形テレサホール

講演会『山形を一番～SAKEの文化と魅力～』

講師 山形県酒造組合特別顧問 小関利彦氏

日本文化を背負い、表現するような清酒造りに情熱を注ぎ、酒造好適米の開発や苦味成分生成酵母等の特許に携わる。

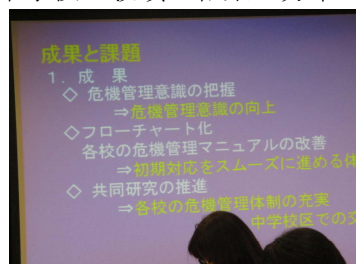


◆第2日目:研究課題「教育環境整備」3分科会

テーマ「小中学校の連携による教育環境および教育活動の充実」(福島県)

小中連携および小小連携における教頭の関わりを通して

福島県石川地区小中学校教頭会 石川町立石川中学校 教頭 相楽 秀幸



【研究内容・協議】

- 1 小中連携・小小連携の実際と課題の把握
  - ①過疎化や少子化に伴う教育活動の影響
  - ②現在実施している各連携事業の課題の見直し
- 2 各校での研究内容
  - ①小中連携授業研究会 ②いしかわコネクション ③小小連携事業
- 3 研究実践による検証
  - ①組織体制の整備 「学び合い」学習についての共通理解 授業研究会実施
  - ②教育委員会主催事業の指導力向上ゼミナール  
・ICT演習 ・hyper-QU 研修 ・「学び合い」学習研修
  - ③小規模校2校の合同体験学習

【研究成果と課題】

- 意図的に教頭間での連絡調整や情報交換を行うことにより、スムーズで効果的な教育活動を実施することができた。
- 町教育委員会の指導の下、小中全教員が同じテーマで授業研究を進めることができた。
- 小中共同で「学び合い学習」の研究に取り組むことで、学習環境の格差改善を図ることができた。
- 学習指導での共通理解・共通実践が学力向上につながる取組を継続する必要。

●教頭や各担当の負担軽減のために連絡調整のスリム化を検討。

【指導・助言】山形市立山寺小中学校長 田中 克

- ・学校間や関係機関との連絡調整を教頭が主になって行う中で、担当教師の実務経験を積む機会の確保が課題。
- ・連絡調整打合せ3校で原案を分担することで働き方改革にもつながる。
- ・今後、TV化による打合せも可能にすべき。

テーマ「子どもの安全安心な環境をつくるための教頭の役割」(山形県)

～災害や事故に対する備えの見直しと家庭や地域との連携について～

山形県酒田市教頭会 酒田市立平田小学校 教頭 阿部 光弘

【研究内容・協議】

1 防災リーフレットづくり

①内容の共有と吟味

- ・A3サイズ1枚
- ・学校と学区の現状1面
- ・学校災害対策本部と業務内容2面
- ・地震発生時の学校の対応3面 ・避難所運営マニュアル等4面

②内容の見直し

- ・各校の実態とマニュアルを活用する対象者に合わせた見直し

③防災リーフレットの活用例

- ・教職員対象 ・地域を対象 ・家庭を対象

2 情報連絡体制の整備

①情報連絡手段

- ・安全安心メール ・ホームページ ・電話連絡網

②情報連絡体制の整備

- ・緊急時に個別対応の連絡が付きにくい理由でメール登録へのお願い
- ・ホームページ更新(行事/日程変更等)

3 各校の防災・安全教育の取組

- ①浜田小：全校一斉下校時、子ども110番に挨拶、防災対応の各教室備え付け
- ②若浜小：毎月第二水曜「命の日」校長講話、全校道徳授業等
- ③亀ヶ崎小：地区避難所開設整備、子ども110番に挨拶
- ④松原小：地区避難所開設整備、平日の児童引き渡し訓練
- ⑤平田小：子ども110番見守り隊見直し、動的安全点検実施

【研究成果と課題】

- 各校のリーフレットを毎回持ち寄り、安全対策のブラッシュアップが図られた。
- 防災や安全教育の視点から情報交換を進めることで、自校の取組意識が醸成された。
- 電話等の通信機器が利用できなくなった際の基本的パターンを定めて、保護者や地域と共通理解を図る必要がある。
- 防災リーフレットは「誰を、どのように、どんな工夫が必要か」という視点で見直しを図り、より機能するものにしていく。

【指導・助言】山形市立山寺小中学校長 田中 克

- ・メール・停電・大雨の場合も考えておくことが重要。
- ・原則、在校中は「帰さない」保護者の迎え途中ケースを想定、安全確保できたら迎えるケースの周知。
- ・避難所としての準備、マニュアルがあってもそのとおりにいかないところは、ブラッシュアップをする。

